

第60回中学生海の絵画コンクール

審査員 綿引 昭子 (新世紀美術協会 会員)
松浦 孝 (門司港美術工芸研究所 所長)

講 評

コロナ禍の規制も緩和されて、普通の暮らしがもどってきました。

そして、今年も待望の海の絵画コンクールの、審査の日がやって来ました。胸をワクワクさせながら、会場に到着しました。整然と並んだ一枚一枚の絵が色とりどりの宝石のように見えました。

まず、最初に全体を見せていただき、そして少しずつ、一作一作を選んでいきました。

自分が何に魅かれ、それを、どういう風に描きたいのか、はっきりさせることが大事です。その描きたいものが画面に出てくれば大成功なのです。ていねいにじっくり描かれた絵は、たとえ表現はぎごちなくても見る人の心を動かすのです。

皆さんの一枚一枚の絵には、それを心底感じました。感動、感動でした。

審査は最後まで苦しみましたが、金賞1名、銀賞3名、銅賞6名、佳作30名、そして優秀校は佐世保市立 福石中学校に決定させていただきました。

受賞された皆様、おめでとうございませう。これからも、大好きな海に感謝しながら、描き続けていませう。

来年も楽しみにしています。ありがとうございました。

審査員 綿引 昭子 (新世紀美術協会会員)